

土佐希望の家通信

<発行>重症心身障害児者施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠107 TEL 088(863)2131/FAX 088(863)2133
 http://www.tosakibou.jp Email:info@tosakibou.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者 神田 祐子

HAPPY LIFE
 家族の窓
 No.28
 和田さおり様
 3病棟



「お母さんへ」

安岡しおり（姉）

2年前、私たち姉妹にとって、いつも支えとなってくれていた母親が亡くなりました。
 数日がすぎ、自分達と同じように、さおりもどんなにか寂しい思いをし、体調をくずしているのではないだろうか・・・と心配し様子をうかがったのですが・・・「とり乱すこともなく落ちついて過ごされていますよ」という職員さんの予想外の言葉を聞き、おどろきました。信じられないことでした。が、しばらくたってから気がつきました。私達と違い、さおりにとっては、母親の病氣入院が最大の打撃だったのです。それまでのように母親にも会えなくなり、もちろん外泊も難しくなったのですから、ストレスも溜まっていたはずで

そんな中、状況を把握し、私達の気付かない間に心の整理をし、もうすでに前を向いていたのだと思います。その姿は私達に後ろを向いて後悔したりせず頑張っているように思えました。
 今まで当たり前のように来ていた外泊もほとんどできなくなりましたが、月に1度くらいの外出を楽しみに待たせてくれています。外出には私の2人の子どもも来てくれています。上の女の子は、車椅子への移乗やトイレ介助を覚えて力を貸してくれるようになり、父親も助かり、さおりも大変喜んでいきます。お手紙の交換も楽しんでるようです。下の男の子もできる範囲で手伝ってくれたり、コミュニケーションが楽しくて、さおりはよく笑っています。そんな子ども達のことをさおりも「おばちゃん」としてかわいがってくれ気をつかってくれています。
 この2年、遠くから心配もしながら見てくれていたかもしれませんが、これからは、母親にも安心して見守ってもらえるように明るく楽しく頑張っていきたいと思えます。



ふたごプロジェクト

8月24日(日)うらみさんのコンサートを土佐希望の家で開催する事が出来ました。コンサートは、土佐希望の家保護者会及び土佐希望の家後援会にご協力いただき、社会福祉法人土佐希望の家との共催とし、多くの職員の関わりをもって実現することができました。皆さまのご協力に心からお礼申しあげます。有難うございました。

テーマ別研修では、①活き活きとした職場作り(喜びの循環を作る)②マネジメントリーダー養成の2本柱を目標に取り組んでいます。
 今回、このプロジェクトを通じて組織(職場)を巻き込んだマネジメントの勉強をさせていたことが出来ました。組織にとって不利益になっていけない、失敗は許されないという想いはもちろん有りましたが、うらみさんとNPO法人などの方々の皆さんの音楽の力があれば、きっと喜びの循環は作れると信じて勉強させていただきました。

コンサートを通して、利用者、家族、職員、職場の方々に喜んでいただけたなら一つの成功だと思います。
 生で感じる、うらみさんの音楽の力はやはりCDでは味わえない魅力が有りました。それと同時に希望の家の職員の温かさを感じる事が出来ました。今回の経験を評価し、課題修正して次のプロジェクトに活かしていけるようにしたいと思います。有難うございました。

1病棟療育員 十河 健



私の仕事 (26)



通園療育主任 沢村純代

平成6年4月に入職してから20年が経ちました。高校を卒業してすぐの就職で、世間知らず「久しぶりの大型新人です」「希望の家の希望の星になります」などと大風呂敷をを広げまくるお調子者の新人でした。
 ひまわり、こすもす病棟と施設で16年勤めて、3年前の春から通園にいます。利用者の方ととても近くて、家族のような存在にもなれる病棟勤務は、本当に楽しくやりがいがありました。通園もまた自分を成長させてくれる場所です。
 通園に来てからは、「社会資源としての希望の家はどうあるべきか」という視点を持つことができるようになりました。国の施策もどんどんと変化しています。在宅支援に重点が置かれています。希望する全ての方が、どんなに重い障がいがあっても、住み慣れた地域で家族と暮らしていける、というのが理想ですが、サービスが追いついていません。高知県には重症児・者のデイサービスが3か所しかなくて、そのうち2か所は高知市です。通えない地域に暮らしている方もいます。どこに住んでいても、等しく同じようなサービスが受けられなくては、家族と地域で暮らしていくことは難しくなります。

24時間の訪問看護や、医療が必要な方でもいつでもショートステイができる施設がもっと必要です。
 希望の家の保護者の方は皆パワフルです。今までも、いろいろな活動をされてきていて、お話を伺うたび、熱意と行動力に心を打たれます。私もそんな保護者の方達の力に少しでもなれるように勉強していきたいと思っています。
 いつも私を支えてくれる原動力は「Oさん」と声をかけて、目があって、ふっと笑顔が生まれるようなそんな小さな優しい時間の積み重ねのなかにあります。これからの笑顔で、人を大事にできる自分でありたいです。

「ご厚意」

【寄付金・寄付物品】
 森田寛様 SDA高知キリスト教会様
 小林豊様 北村忠司様 日本キリスト教団高知教会様 志磨村優子様 門田作太郎様 岡本清正様 久富久貴様 矢野利雄様 岡崎勝久様 小松光浩様 高知県立高知農業高等学校様 高野燃料様 高知ヤクルト販売(株)様
 ありがとうございます。
 今後ともよろしく願います

ちよひのダンス

あざみ病棟でのある利用者さんの誕生日のできごと。プレゼントに前川清のCDをもらっていました。前川清が好きなのです。夕食前のひと時に、その日の男性勤務者が全員集合し、本人を囲って前川清の代表作である「長崎は今日も雨だった」を歌っていました。その様子がとてもほえましくあったかい雰囲気です。「いいなあ」と自然と笑顔になる時間でした。
 夕食パート職員より

ちよひのダンス

8月11日(月)海辺の杜よさこい隊が来てくれました。時間の関係もありこすもす、やまもも、あざみの3か所を回っていただきました。ダイナミックな踊りと素敵な笑顔で大盛り上がり。利用者様から手作りメダルをプレゼントしました。すると、海辺の杜よさこい隊の皆さんからもサプライズプレゼントとして、海辺の杜メダルと鳴子をいただきました。このプレゼントには利用者様も職員も大喜びでした。本当にありがとうございました。



カラオケ大会

6月15日(日)面会日に通園ホールにて、全体のカラオケ大会が行われました。歌には自信のある「つわものたち」が各病棟から選ばれ16組の熱い戦いが始まりました。エントリーされた方々の歌声を聴き、周りの皆さんはノリノリに盛り上がり、一体感を感じる事ができました。一生懸命に声を出そうとしている場面では感動したり、素晴らしいカラオケ大会となりました。最高の1日を過ごせることができ、来年のカラオケ大会も楽しみです。

3病棟あざみ療育員 有光彩織



高校生ワークキャンプ

今年で29回目になる高校生ワークキャンプ(高知市社会福祉協議会主催、高校生のボランティア体験)では、8月18日~20日の3日間、各病棟に分かれて12名の高校生が利用者様と交流しました。利用者様の笑顔が見られて嬉しかったとの感想もあり、個々の思い出に残る3日間となりました。ご協力してくれた利用者の方皆さん、職員の皆さんありがとうございました。



レクリエーションに参加



リハビリ見学しました!



茶話会♪



ハッスル神社

☆願いを叶えるハッスル神社
第3弾の『夢』実現は...



①美味しいコーヒーをA職員さんと飲んだ中内さん。
肝心のコーヒーのお味は???本人「美味しい」となんと3杯も飲まれていました。その後も買い物やデザートを楽しむ素敵なデートでした。

ご協力してくれた皆さん
ありがとうございました。

②いっぱいドライブをしたいと室戸ドルフィンセンターに行ってきた野澤さん。イルカに触れてドキドキだったけど声を出して喜んでいました。



第36回 希望の家祭

今年の希望の家祭の日程が決まりました!
2014年10月12日(日)
10:30~15:00

『テーマ』
Let It Go ありのままの自分たちで
~パス・ドリブル・シュート・笑顔のゴール~



④お姫様のような服を着て、家族と写真を撮った橋本さん。40歳という事もあり、2度目の成人式を開催しました。3人とも笑顔でとてもいい写真が撮れました。笑って、感動して、家族の絆を感じました。



③美味しいスイーツをいっぱい食べた今井さん。当日は今井さんの誕生日会もかねて行い、お姉さんもかけつけてくれ温かい会となりました。

土佐希望の家周辺の歴史

施設長 長博雪

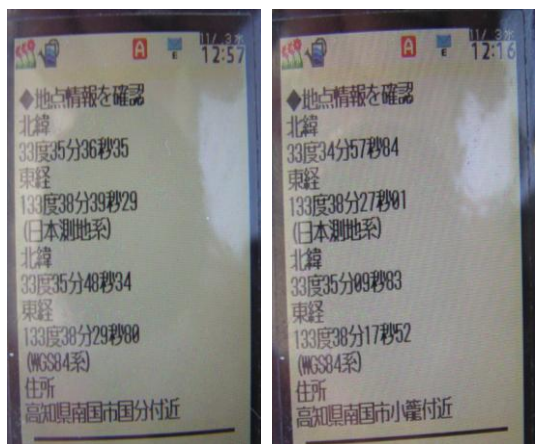
「地蔵渡し」幻想

以前、このシリーズ第2回で、土佐希望の家のすぐ近くに「古代の道路遺跡」が見つかったことを紹介しました。その中でもちらっと触れた「地蔵渡し」のお話をしましょう。場所は、土佐国分寺のすぐ傍、国分川の北側の堤防の道。写真1のように花崗岩製のお地蔵さんがお祀りしてあります。すぐ横に「地蔵渡し」の説明板があります。それによると、国分地区と南方との交通は、国分川に妨げられ、明治30年に国分橋ができるまでは、「ここ「地蔵渡し」を歩いて渡る以外方法はなかった」とのこと。今でこそ穏やかな流れの国分川ですが、以前はそうではなかったのでしょうか。お地蔵さんには文化7年といえますから今から200年以上昔の年号が刻まれ、お遍路さんの道しるべ的存在だったと記載されています。さらに、この国分川の北岸一帯にかけて「マチ」「マチガシラ」「イチバ」「ヒガシフルイチ」「ニシフルイチ」のホノギ

1・地蔵渡し



携帯電話機による位置情報



3・地蔵渡し 2・古代道路遺跡



4・地蔵渡し・官道遺跡・峠の道 住吉通りが同一線上

(小字)地名が残されていること、南岸の廿枝「フルイチ」などの地名などとも、国分、国分寺の全盛時代、この辺りが土佐の国の中心であった時代、市場や市街地があって人々の賑やかさが想像されると記されています。土佐希望の家の近く、現在通称「あけぼの道路」とよばれている道の工事に発見された「古代の道路遺跡」は北より僅かに東に振れた方向に向ってのびていました。古代の「官道」といわれる道路は直進性の特徴があります。

両側に「溝」を有し、6m以上の幅があり、「真つすぐ」伸びる道路。発掘の報告書でも「南国市篠原の住吉通りから国分寺の東側に直線的に通じている」と述べてあります。ひよっとしたら、この官道はこの「地蔵渡し」を通るんじゃないかと想像してみました。私には正確な測量器具や専門知識がありません。「古代に橋がなかったとしたら此処しか渡れないよね。」と考えました。「何か確かめる方法はないかしら。」自分にあるのはGPS機能を持つ携帯電話。これは、現在の正確な位置情報(北緯・東経)を教えてください。また市販の地形シミュレーションソフト。これは、入力した位置情報を正確に二万五千分の1の地形図にプロットしてくれる機能を持ちます。休日の午後、愛用の自転車で運動を兼ねて、「官道の道路遺構」「地蔵渡し」を訪れ、それぞれのGPSによる位置情報を集め(写真2)(写真3)、上記のパソコンソフトに入力してみました。(写真4)すると、「地蔵渡し」、「官道遺跡」、「南国小籠郵便局横の峠」、「住吉通り」、は一直線上に並んでプロットされました。これはちょっと感激。どうやら推定官道は「地蔵渡し」を通っているようです。これはまだ自分の推定だけで発掘調査などによる物的証拠はありませんが、紀貫之や国衙に勤める人々が馬や徒歩で国分川をジャブジャブと渡っている様子を想像してみました。このあたりは香長条里という古代の条理制が強く残っており、これが官道の方角と一致します。「郵便局横の峠の地点」と渡河できる唯一の地点である「地蔵渡し」地点を結び官道がまずできて、それに基づいて条里を作った可能性は?そんな夢がふくらみました。

次回は、この推定官道が今も残る「住吉通り」を紹介してみましよう。

重症児者を守る会 からのご案内

守る会の主催で高知県司法書士会から小谷司法書士様をお招きし成年後見人の職務について講話を行います。

成年後見人についての講話
日時 平成26年9月21日(第3日曜日)
午後1時~2時30分(質疑応答含む)
場所 土佐希望の家 通園事業所ホール
講師 高知県司法書士会 小谷晃史様

当日の保護者会及び守る会は、成年後見の講話が終了する2時30分から行う予定となっております。併せてご案内いたします。

尚、成年後見人の講話についてはどなたでも参加可能ですので、たくさんの方のご来場をお待ちしております。資料の準備もいたしますので入所保護者以外の方で参加希望の方は土佐希望の家ソーシャルワーカー 神田までお申し出ください。ご協力宜しくお願いいたします。